

平成25年度 関東総合バスケットボール選手権大会

男子決勝 平成25年11月24日(日) 富士北麓運動公園体育館 大会2日目 Aコート 第4試合 14:30~					
〈Aチーム〉 千葉エクストリームス 千葉	69 { 14 - 21 17 - 14 20 - 12 14 - 18 4 - 12 } 77	〈Bチーム〉 曙ブレーキ 埼玉			
主審	渡邊 諭	第1副審	久保 裕紀	第2副審	河野 仁

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	0	池田 裕介	17		8	1	4
	1	上口 真弘					
◎	2	長田 茂雄	7	1	2		4
◎	3	小山 純	2		1		2
○	4	日影 カイル	11		5	1	3
	5	秋元 啓人					
	6	横山 拓巳					
	7	清野 浩司					
	8	黒田 裕					
	9	井上 知徳					
	10	林 裕輝					
◎	11	田中 恭平	12	2	3		4
◎	15	中村 将大	8		4		3
	18	平 夏樹					
○	22	湯浅 健司					
◎	23	星野 拓海	12	2	2	2	1
	24	高木 賢伸					
	54	上村 健太					
コーチ		有川 太郎	/	/	/	/	
			69	5	25	4	21

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
	3	庫山 隼輔					
○	7	石井 孝生	14		6	2	1
◎	8	佐々木 陽	4		2		
◎	9	熊 吉	21		9	3	2
	11	真栄田 佑					
◎	15	田中 洋貴	18	1	6	3	3
○	16	根元 裕貴	1			1	
◎	17	田村 晋	15	1	5	2	2
	25	渡邊 純平					
	31	駒水 豪					
◎	32	藤原 勇介	2		1		5
	34	金城 真悟					
○	87	河本 裕一	2		1		
コーチ		城迫 昇	/	/	/	/	
			77	2	30	11	13

◎:スターター ○出場 3P:3点シュート(本数) 2P:2点シュート(本数) FT:フリースロー(本数) Foul:パーソナルファウル

戦評	記入者: 吉川 仁
<p>1P 両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。曙ブレーキは#9や#15の活躍により幸先の良いスタートを切った。対する千葉は#15のポストプレイ#15→#0の合わせで応戦するもリズムに乗れない。残り5分、15-6、曙ブレーキリードのところ千葉はタイムアウトを取り、DFをゾーンに変える。その後曙の得点が止まり、逆に千葉は#0と#15を中心に加点していく。21-14、曙ブレーキリードで1P終了。</p> <p>2P 立ち上がり、千葉は#4のリバウンドからの3連続得点で主導権を握る。千葉のゾーンDFが機能し、曙のシュートミスを誘う。千葉は速攻などで曙を捕まえにかかる。残り2分、29-29で千葉はタイムアウト。しかしこれを境に曙は#87、9、7の得点で流れを変えた。35-31、曙ブレーキリードで前半終了。</p> <p>3P 曙ブレーキ#9の得点からスタートするが、その後#15のポストプレイや#0の活躍により加点する。曙ブレーキのテクニカルファウルから流れが変わり、遂に千葉が逆転。その後曙ブレーキも#15等の加点で追いつくも及ばず、51-47、千葉が4点リードして3Pが終わった。</p> <p>4P 立ち上がり、曙ブレーキは#9、7、千葉は#15、0の得点で一進一退の展開。曙ブレーキは#7のポストプレイから残り6分で追いつく。曙ブレーキは#7を中心にDFを固め、千葉の得点チャンスをつぶす。千葉は#23の3Pシュートで追いつく。65-63、曙ブレーキリードで迎えた残り3.3秒、曙ブレーキスローインのボールを千葉がスチール。そこから#11のシュートに繋げ、65-65。延長戦に突入。</p> <p style="text-align: right;">延長戦</p> <p>#7と#9を中心に曙ブレーキが優位にゲームを進めるフリースローもミスなく決めて引き離す。千葉は得点源であるポストからの合わせの攻撃が機能せずターンオーバーが多くなる。ファウルもかさみ曙ブレーキにフリースローを与えてしまう。曙ブレーキは落ち着いた試合運びで延長戦を戦い、77-69で曙ブレーキが優勝し、オールジャパンの出場権を獲得した。個々の能力が高い千葉、確実なバスケットを展開する曙ブレーキ。両チームともに持ち味を発揮したナイスゲームであった。</p>	